

令和3年12月12日(日)静岡新聞朝刊掲載

医療従事者に感謝

静岡英和女学院中・高 マスク寄贈

寄付金とマスクを手渡す静岡英和女学院中・高の生徒会メンバーら(右)
＝静岡市葵区の日本赤十字社県支部

新型コロナウイルスの対応に従事する医療関係者に感謝の気持ちを伝えようと、静岡市中・高が10日、文化祭の縁日の売上金など計7万7千円と、手書き

のメッセージカードを添えた使い捨てマスク千枚を日本赤十字社県支部と静岡赤十字病院にそれぞれ寄贈した。同区の日本赤十字社県支部を訪れた生徒会のメンバー4人が、支部の梶山和彦事務局長に寄付金を、同病院の渡辺憲朗事務部長にマスクを手渡した。生徒会の文化局長で縁日やマスク寄贈を企画した2年生の久保山爽来さん(17)は「身を削って戦っている医療従事者に感謝を届けたいと全校生徒でメッセージを書いた」とあいさつした。

マスクには「皆様のおかげで毎日元気に過

ごすことができているす」など一人一人が考えたメッセージが添えられている。渡辺部長は「現場の励みになる」と感謝した。

3市社協に 福祉車両寄贈

静岡信金

静岡信用金庫(佐藤徳則理事長)は10日、静岡、焼津、藤枝3市の市社会福祉協議会に福祉車両を寄贈した。同信金創立100周年記念事業の一環。車

